

My
passion

始まりはいつも「出会い」

私の人生をふりかえると、その節目節目でいつも人との縁に恵まれていたように思います。

ドイツ留学を語る上で欠かせないのがDecker教授の存在です。大学院時代、「Kupffer細胞と肝不全が生じるメカニズム」について研究していたので、卒業後は、当時この研究の最前線で活躍されていたDecker教授のもとへ留学しました。しかし、訳あって別のテーマを勧められました。それこそが今もメインテーマの一つにしている「星細胞と肝臓の線維化」です。

ドイツ留学から帰ってきた後は、広島大学の先生との出会いがありました。「肝細胞が再生するときに、肝細胞以外の細胞の助けが絶対に必要だから、一緒に仕事をしましょう」ということになって、それで発見したのが「サイトグロビン」です。発見者としてデータベースに載ったことは非常に光栄でしたし、世界初の研究ですから、何をやっても楽しく感じました。

私の場合、こんな感じで、環境が変わるたびにキーになる人がポンッと現れて、その度に刺激を受けて、研究や臨床の幅が広がってきたのです。機会があると今も声をかけていただいて交流が続いていますが、本当にありがたいと思います。こう見えて、結構、人恋しいタイプなので(笑)。

若い研究者の方にも、こうした縁を大切にしてほしいと思っています。それからひとつ注文するとしたら、「人を魅了するような文章を書いて、自分がやってきたことを残してほしい」ということ。私は、「科学者は作家でないといけない——」と思っています。



Hospital profile

大阪市立大学医学部附属病院

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町 1-5-7
Tel:06-6645-2121

肝疾患相談支援センター
Tel:06-6645-2857

大阪市立大学医学部附属病院は、大阪市制100周年記念事業に伴い、全面的建替整備を実施し1993年5月に新病院をオープン。肝疾患診療連携拠点病院に指定されている。

また2014年4月14日、公立大学法人として全国初の健診施設である「先端予防医療部附属クリニック MedCity(メッドシティ)21」を、あべのハルカス21階に開設した。

MedCity21では、大学病院の持つ専門性の高い人材と高度先進医療を活かし、予防医療を実践する。主に5大疾病(がん、脳卒中、心臓病、糖尿病、精神疾患)や生活習慣病などの早期発見・早期治療を目的とするが、肝機能検査、肝炎ウイルス検査も標準検査項目の中に含まれる。

また、診療部門としてレディースクリニック(産婦人科・皮膚科)や特色のある専門外来を併設する。



大阪市立大学医学部附属病院
先端予防医療部附属クリニック

MedCity(メッドシティ)21

〒545-6090 大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス 21階
Tel:06-6624-4010

